



『富の寒さと子どもたち』

2月に入り、寒さが日増しに厳しくなってきました。朝の通勤途中の景色も雪化粧をして、目を楽しませてくれます。

「みずの郷奥津湖」を過ぎ、箱の峠に向かうにつれて雪は深くなります。その雪と格闘しながら、やっと富に到着。想像を超えた積雪量に、なぜか笑顔になります。

今日もひと汗かこうと雪かきをしていると、遠くの方から楽しげに登校してくる生徒たちの姿が見えました。

「おはようございます」

「先生、お疲れ様」

などの会話が弾みます。早朝の雪かきで、寒いはずなのに心温まる瞬間です。生徒たちも、寒さをまったく感じさせません。それどころかこちらの心を温めてくれる笑顔と会話。本当によい生徒たちだなとあらためて実感します。

人数は多くないけど、それぞれの個性を認め合って生活していく富の子どもたち。冬の寒さや雪道にも負

けずに頑張っている子どもたち。そんな子どもたちが、私は好きです。

こんな素晴らしい子どもを育てることができるのは、地域ぐるみのあいさつや近所のお年寄りとの日頃の交流にあるのではないだろうか。

例えば、下校途中に出会う人には、「帰りました」の元気な声。それを聞いた地域の人からは、「お帰りなさい」の温かい声かけられます。また、近くのお年寄りから、世の中の出来事についての意見や、昔の生活のことなどについて聞く機会があり、よく交流ができています。この

交流が、子どもたちにとって「生き方」の参考になるとともに、お互いの人間関係づくりに役立って、気軽に声をかけることができたり、気持ちが伝わることに繋がっていると思います。

「地域の教育力」が失われてきていると言われますが、まずは地域の人間関係づくりが第一歩ではないかと思っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

富中学校 溝口 憲之

のびのびひろば

(上齋原幼稚園)



ゆきあそびたのしいよ!!

毎年、積雪のある上齋原ですが今年はなかなか雪が降らなくて心配していました。年明けに園庭の土が見えることは珍しく、子ども達も早く雪遊びがしたいと待っていました。1月中旬、まとまった雪が降り園庭も姿を変えました。小高い山を利用したのソリすべりやアルペンスキー。中学校側グラウンドまで行く、クロスカントリースキー。かまくら・雪だるま作りに雪合戦！子ども達は、寒さも忘れ元気に外で遊んでいます。季節を感じて遊べる特徴を生かしていきたいと思います。



そりすべり
たのしい！



かまくらを
つくったよ

